

東日本大震災について

財団法人いわて産業振興センター 理事長
藤井 克己



3月11日に発生した「東日本大震災」によって亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々、またそのご家族の皆さまに、お見舞いを申し上げます。

本県は、この大地震、大津波により、大きな被害を受けました。多数の方が亡くなったり、あるいは行方不明になるなどしています。負傷された方も多数にのぼります。

避難され、難を逃れた方の中にも、住む家や自家用車が倒壊したり、あるいは津波で消失した方が数多くいます。また、地震直後より避難所での生活を余儀なくされ、不便な毎日を送らねばならない方々もまだ多くいます。

さらに、深刻な物資不足が発生、ガソリンや食料品、電池等の日用雑貨類を求め、行列ができるなど、混乱も続きました。

これらの解決のために不可欠な、道路や鉄道、新幹線などの交通網も、地震や津波のために壊滅的な被害を受けました。徐々に復旧してきていますが、しばらく不便な状態が続くと考えられます。

企業活動においても被害は小さくありません。工場等が打撃を受け、操業できない企業も多く発生しましたし、先述の燃料不足等も追い打ちをかけました。こちらも、少しずつ回復の兆しが見えてきていますが、完全に復調するには時間がかかるものとみられます。

マスコミ等で多数報道されたことで大きな関心呼び、国内、さらに諸外国からも支援の手が次々と広がってきていますが、本県をはじめ、被害を受けた地域において、復興の道はまだまだ遠いと言わざるを得ません。

しかし、先が見えないと言っているのは、復興の道のゴールは遠のくだけです。ひとりひとりが力を合わせて、前を見据えて行動を起こせば、必ず、岩手、東北、そして日本が、復活することでしょう。

皆さまのお力添えになるよう、私ども、いわて産業振興センターも努力してまいります。

当センターは4月1日からグループ構成を改め、再スタートを切る予定でございましたが、この震災の影響により、今後、事業にも少なからず影響が出るものと思われまます。

しかし、皆さまにご不便をおかけすることのないよう、私どもは誠心誠意、業務を遂行してまいります。本県の産業振興のため、そして復興のため、力の限り、努力していく所存ですので、引き続きよろしくごお願い申し上げます。

◎今月号は、特別紙面にてお届けいたします。特集記事はお休みします。

なお、先月号(3月号)につきましては、東日本大震災の被害状況に鑑み、発送を休止いたしました。

そのため、本号に同封してお送りしております。

誠に申しわけございませんが、一部、過去の情報になっている部分がございます。ご了承くださいませよう、ご願ひ申し上げます。